

福生市町会長協議会 会報

ちいき

《発行》 福生市町会長協議会 会長 宇都 紀男

福生市町会長協議会

ご覧ください!

ホームページができました!

今年度、福生市町会長協議会では、市内にある34町会・自治会の地域に密着した活動や町会長協議会の取組みについて、広く市民の皆様を紹介するため、ホームページを作成しました。なお、この事業は、平成21年度「東京都地域の底力再生事業助成」を受け行ないました。



ホームページでは、それぞれの町会・自治会が行なっている防犯・防災などの安全安心活動や運動会・敬老会など、さまざまな情報をご覧いただけます。

また、思いやり傘やあいさつ運動などの町会長協議会の活動も掲載しています。

このホームページを通じて、私たちの活動を身近なものと感じていただき、地域のつながりを広げていくために、より多くの方に町会・自治会へ加入していただきたいと思えます。

最新情報を掲載していきますので、チェックしてください!

※市のホームページからもリンクしています。(くらし↓コミュニティ活動)

出会は町会・自治会から...

地域の中でのつながりは、お互いに気軽に協力できる「安全安心」な暮らしへの第一歩です。

地域の中で、より気持ちよく暮らしていくためにも、住民同士のつながりは欠かせません。

ぜひ、町会・自治会の活動に参加して、新たな出会いを見つけてください。

URL <http://www.fussa-chokaijichikai.com/>

町会・自治会の活動で生まれた新たな出会は、地域の見守りや防犯・防災、環境美化など、より住みよいまちへとつながっていきます。

- ・新しい顔見知りが増え、知り合った仲間と家族ぐるみの付き合いができるようになりました。
- ・町会のサークルを通じて、友人を作ることができました。
- ・行事に参加して、子どもも大人も一緒になって楽しむことができました。

出合い

高齢者や子どもを地域全体で見守ることができます。

見守り

町会・自治会に加入してよかったこと、喜ばれたこと

(町会長協議会アンケートより)

他にも…

- ・地域の情報が簡単に手に入ります。
- ・地域の困りごとの相談窓口としての役割。
- ・資源回収や花いっぱい運動などのエコ活動によって、地域の環境が守られています。

安全安心

- ・防災訓練や防犯活動に参加することで、消火器の使い方や地域の危険な道など、新たな発見がありました。
- ・隣近所での声のかけ合い、挨拶によって、顔見知りが増え、防犯につながります。

学びあい

まちあるき訓練
鍋ヶ谷戸第二町会 森田龍幸

鍋二町会では、平成7年1月17日に起こった阪神・淡路大震災を忘れないよう、毎年1月に防災研修を行なっています。

平成21年1月18日には、「街あるき訓練」を実施しました。

ふっさボランティア・市民活動センター、東京ボランティア・市民活動センターのスタッフと、地元消防団第二分団の方に協力していただきました。消防団のポンプ

紹介します!

町会・自治会の活動

現在市内にある34の町会・自治会の活動を「支えあい」「うるおい」「にぎわい」の3つのテーマで紹介します。

車や分団の詰所などを見学したり、防災倉庫や消火栓など、鍋二地域にある防災資源や設置物、建物が、災害時に有効な機能を発揮することなど、なかなか普段歩いていても知らなかったり、気付かなかったことを確認できました。

約2時間の訓練でしたが、実際にまちを歩くことで、さまざまな状況を想定し、その備えについて一人一人が考える機会となつて大変よかったと、訓練に参加された方より評価をいただきました。

なお、今年の防災訓練は、「埼玉県防災学習センター」へ行き、災害の対処方法などを体験、学習しました。



町会のきずな

町会のきずな
牛浜第一町会 町田成司

牛浜という地域は、福生市の中心に位置しており、町の中心的な役割を果たしてもおかしくない地域であるので、町会を通じて地域にいろいろなことを発信し、安心安全の住みよい地域づくりを目指しています。

我々は、町会をコミュニティの場であることを目標とし、各事業を通じて、町会員の意思疎通を図れるような運営を心がけています。

そのために、私は、常々役員



救急救命訓練

と会員は目的意識や価値観を共有することが大切であると思い、「災害に強い町会づくり」を最大のテーマにし、災害や、日常生活において異常事態が起きた時の対応策として、救急救命の講習会を行ない、資格取得者を多く輩出します。

今後は、町内の要所へのAED（自動体外式除細動器）の設置を行政に要望していく予定です。12月までの資格取得者は、60名でした。2月に50名の講習会を予定し、年内には120名以上の資格取得を目指しています。町会員の50%以上が資格を取得し、日本一の町会を目指して、町会員であることが自負できる活動をしていきます。

町会のきずな

人々が協力しあって
楽しむ地域の行事

永田町会 細谷利久

永田町会は、古くから住む人々と新たに開けた田園地区の新しい人々が、共に仲良く一つになって活動する町会です。

そんな永田町会の行事では、老若男女を問わず、多くの人々が積極的に協力し合いながら、



樽神輿

準備から本番、後片付けまで全てを仲良く楽しんでおります。

夏に行なわれる八雲神社祭礼の時には、一週間前から祭礼仕事始めとして、永田町会ならではの勇壮な樽神輿の飾り付けなど、先輩方の指導により大勢の人が手分けをしながら準備していきます。また、子ども会やPTAでは、祭りには欠かせない花作りを担当しています。そして、祭礼の二日間、町会役員を始め多くの会員の方が樽神輿、子ども神輿、山車に携わりながら、元気に楽しんでおります。

そして、この祭礼では、参加者のために二日間の食事等の賄

いを担当してくださる年番の方々が陰ながら協力し、支えていただいております。

祭礼が終わった翌日は、朝から神酒所や花場などの片づけがあり、夜には町会会館の永田クラブで慰労会が行なわれ、町会員同士の親睦と交流が深められています。

このように、地域のいろいろな行事に人々が協力し合って楽しむことに大きな意義があるのではないのでしょうか。

支えあい

- ・防犯パトロール、災害時に備えた自主防災組織の運営、防災訓練など地域の安全安心を守る活動

- ・あいさつ運動、声かけ運動など子どもたちの健全育成に取り組む活動
- ・資源回収、町内清掃、花いっぱい運動など、まちを美しくする活動

にぎわい

- ・夏祭り、盆踊り、もちつき大会、その他町会・自治会独自のイベントの主催

うるおい

- ・運動会、ラジオ体操、市民総合体育大会への参加など地域住民の健康づくりを進める活動
- ・敬老会、募金活動など福祉に関する活動

地域カマップを目指して

「東京都地域の底力再生事業助成」の活用

町会長協議会のホームページの作成以外にも、市内の3団体（5町会）が、平成21年度「東京都地域の底力再生事業助成」を活用して、地域で暮らす住民同士の「つながり」を強め、地域の課題を解決する力「地域力」の向上を図るためのさまざまな事業を実施しました。

地域の世代間交流

本町第六町会

高齢者に元氣を取り戻してもらい、幅広い世代との交流を深めるため、町会内の「そば打ち同好会」と町会が中心となり、「そば打ち実習と試食会（全3回）」を行いました。

この事業が、さまざまな世代での交流のきっかけとなり、声を掛け合いやすい関係が生まれ、地域の安全・安心につながりました。（写真①）



①



②



③

将来の地域を担う子どもたちを対象とした低炭素型地域環境オリエンタリング

わらつけ東地区連絡協議会

（富士見台町会、玉川台町会、福栄町会）

将来の地域の担い手である子どもたちを対象に、日本大学の協力のもと、環境にやさしく暮らしていくための地域資源オリエンタリング、太陽光を熱に変えるソーラークッカー体験など、楽しみながら低炭素型社会について学び、考える事業を行いました。

ヒヤリマップ作成による地域の安全・安心まちづくり事業

福東町会

この事業を通して、地域の環境への意識が高まるとともに、町会加入率が比較的低い子育て世代の参加を促し、町会と未加入世帯との交流を図ることができました。（写真②）

地域の防犯・交通安全対策のため、警察、福寿会、PTA等と連携して、危険な場所、注意すべき区域などを掲載した「ヒヤリマップ」を作りました。

作成したマップは、地域の全世帯に配布し、防犯・交通安全への意識の向上を図り、地域全体で安全・安心のまちづくりに取り組んでいきます。（写真③）

広告掲載スペース

この会報「ちいき」に加え、町会長協議会ホームページが完成しました。

これからも、より多くの方に町会・自治会の活動をPRしていきたいと思えます。

また、市の広報（毎月1日号）にも、町会・自治会の活動を紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

平成22年3月
編集委員長
編集委員

- 井上 正和
- 竹田 良昭
- 中村 光昭
- 佐藤 弘治
- 西 敏彦